

令和 6 年 6 月 9 日現在

機関番号：33908

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2019～2023

課題番号：19K01817

研究課題名(和文) 地域新産業の振興に向けた異分野間連携を促進させるためのマネジメントに関する研究

研究課題名(英文) A study about the management for facilitating cross-sectoral collaborations toward promotion of regional industries

研究代表者

川端 勇樹 (Kawabata, Yuki)

中京大学・経営学部・教授

研究者番号：00614702

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の理論構築における学術的な成果については、「競争力のある地域新産業の振興に向け、異分野間の自己組織的な組織間連携を促進するためのマネジメントを、いかなる体制・能力を備え、どのように推進するか」という研究テーマに関して、3つの問いをたて、地域、異分野間連携の促進、促進を支援する事業体の視点から先行研究およびパフォーマンスの高いドイツの複数事例を対象に事例研究および比較分析による検証を行うことにより、研究テーマに関する信憑性の高い理論構築および実践的価値の提供において一定の成果を出したことである。

研究成果の学術的意義や社会的意義

地域新産業の振興には従来の枠組みを超えた異分野連携が重要であるが、そのために自己組織的な各主体間の連携への取組みをいかなるマネジメントで促進させるかについては、実証に基づいた研究が十分ではない。本研究では、地域、連携促進のマネジメント、マネジメントを実施する事業体、以上に着目し既存研究をふまえ、詳細な事例研究と比較分析により、統合的な理論構築をしたという点で特色のある研究である。社会的意義では、産業振興に向けて自己組織的な組織間連携を促進するための有効な視点を与え、対象を拡大した学術研究の発展および現代の日本経済・産業の実践的な課題解決に向けた多くの可能性を持つ研究である。

研究成果の概要(英文)：The significance of the findings on research questions is the contribution to the academic value (theory building) of the research theme "How to implement the management for facilitating the establishment of cross-sectoral collaborations to promote new competitive regional industries through business creation, and with what kind of regional system and competence of the management body to facilitate it?" Moreover, this study also obtains the implications for practitioners involved in the management approach to facilitate cross-sectoral collaborations toward promoting regional industries. More concretely, the implications can be suggested for officials of the public sector (e.g., officials of a regional government and its affiliate) and facilitators (e.g., managers/staff of the management body like cluster organizations) who intend to promote regional industries through collaborations.

研究分野：組織間関係論

キーワード：地域産業の振興 異分野間連携 地域システム マネジメント 事業体

1. 研究開始当初の背景

(1) 社会的な背景

我が国では、経済成長の鈍化や地域産業の衰退が克服すべき課題となっている。新興国の追い上げ等で従来産業の競争力が低下する中で、成長潜在性が高い分野でイノベーションを推進して競争力のある新産業の振興が求められおり、この実現には地域経済の大多数を占める中小企業、大学・研究機関等の中で従来の枠組みを越えた異分野間連携の実現が不可欠である。同様の課題は他の先進諸国でも直面しており、欧州諸国では地方政府の支援で異分野間の自己組織的な連携を促進させることを通して、地域産業の振興に向けた取組みが行われており、いかに連携を促進させるかについての学術的な研究も求められている。

(2) 学術的な背景

上述の状況の中で、本研究の中心である組織間連携の従来研究では、組織間関係における戦略的・構造的な決定要因が主な関心事であった。しかしながら、組織間関係がいかにして成立するのかというテーマのもとで、連携を担う主体間の相互作用に着眼した実証に裏付けられた研究が不足している。また組織間連携に影響を与える環境、仕組み、働きかけも考察の対象とした統合的で実証を伴った研究は十分な蓄積がない。

2. 研究の目的

上述のように、イノベーションを推進して競争力のある地域新産業を振興するには従来の枠組みを超えた産学官による異分野連携が重要であるが、そのために多様で多数の主体間の相互作用を通じた自己組織的な連携の成立プロセスをいかなるマネジメントで促進させるかについては、実証に基づいた研究が十分ではない。

本研究では、「競争力のある地域新産業の振興に向け、異分野間の自己組織的な組織間連携を促進するためのマネジメントを、いかなる体制・能力を備え、どのように推進するか」を研究テーマとした。この解明にむけて、

1. 組織間連携を通じた競争力のある地域新産業の振興に向けた支援体制づくり

2. 変革マネジメントの視点を適用した自己組織的な組織間連携の促進

3. 異分野間連携の促進を支援する事業体の体制・能力

以上に着眼した。これらを対象とした既存研究を基に概念を融合させ、詳細な事例研究と比較分析により、研究テーマの統合的な理論構築に取り組むことを目的とした。

3. 研究の方法

本研究では上述のとおり、地域新産業の振興に向けた事業化推進のための異分野間連携の成立プロセスをいかに促進させるかについて、複数地域における同様の取組みの事例を対象に検討し解明していくことを目的としている。第一に探求する主な問いは「どのように」異分野間連携の成立プロセスを促進したのかということ、第二に研究対象が実験による手法とは異なり研究者によるコントロールが不可能であること、第三に研究対象が現在の事例であり現行の事象として1次データを入手することができること、以上から Yin (2003) が示した適切な研究方法の選択基準に基づき、ケーススタディの方法を採用することとした。

そのうえで、研究テーマを探求するための研究テーマに基づく上述の着眼点に基づいて以下の問いをたてた。

問1 競争力のある地域新産業の振興に向け、異分野間の自己組織的な組織間連携の成立を促進させるために、地域にいかなる体制を誰によってどのように構築するか？

問2 異分野間の自己組織的な組織間連携の成立へのプロセスはいかなるのもので、その促進のためのマネジメントは、誰が・どのように推進するか？

問3 同マネジメントを推進する運営体に求められる体制・能力はどのようなものか？

以上のそれぞれの問いに対して、先行研究のレビューに基づく強固な理論的基盤のうえで研究テーマにおける主要概念で構成される分析のためのフレームワークとしての概念モデルを提示した。そのうえで、これら概念モデルを基に、事例を対象にケーススタディを実施した。データは複雑な社会プロセスへの洞察を可能にする質的データを収集するため、まずは対象とする事例に関する公開資料、関係者から入手した資料を収集した。さらにそれらから得たデータを基に、より深く各問いに関するデータを収集するためにケーススタディの対象となる事例の関係者へのインタビューを実施した。以上で得たデータに対して、出来事の因果関係を明確にする質的な分析手法を用いた。

ケーススタディの対象となる事例は、自治体等が競争力のある地域新産業の振興を目的に、医療機器分野における中小をはじめとする企業、大学等研究機関、医療機関、ユーザー団体等による自己組織的な組織間連携の促進に成果を挙げたドイツの複数の事例を対象とした。ドイツで

は、新興国の追い上げや高齢化等で日本と同様の経験をもっており、物価の高いドイツにおいても十分に競争力のある新産業を創出するために、各地域の公共セクター（州政府等）がイニシアティブをとって、クラスター政策を実施している。そのもとで、各産業においてクラスター組織が仲介者機能を担い、中小企業をはじめとする産学官による異分野間連携を促進し、イノベーションの創出と新規事業を推進することで地域産業の振興に取り組んでいる。それら産業のなかでも、医療機器分野は潜在的な成長性で着目されており、輸出比率も高まっており現在では 65% と競争力が向上している。そこでケーススタディの対象は、ノルトライン・ヴェストファーレン (NRW) 州、バイエルン州、バーデン＝ヴュルテンベルク (BW) 州における医療機器分野の振興の取り組みとした。

上述の各問いについて、これらの複数地域を対象とした事例研究の結果を比較分析と各事例における出来事の因果関係を明確にする過程追跡を行ったうえで、先行研究のレビューにより提示した概念モデルを修正することにより、構成概念妥当性、内的妥当性、外的妥当性の高い理論構築および実践的示唆を導き出す方法を採用した。

最後に、これら各問いで導き出した概念モデルを基に、地域、各産業分野における異分野間連携を促進するためのマネジメント、連携促進を支援する事業体に関する統合概念モデルを提示した。

4. 研究成果

本研究の理論構築における学術的な成果については、「競争力のある地域新産業の振興に向け、異分野間の自己組織的な組織間連携を促進するためのマネジメントを、いかなる体制・能力を備え、どのように推進するか」という研究テーマに関して、地域、異分野間連携の促進、促進を支援する事業体の視点から 3 つの問いをたて、先行研究のレビューによる概念モデルの構築、および同様の取り組みにおいてパフォーマンスの高いドイツの複数事例を対象に事例研究および比較分析による検証を行うことにより、研究テーマに関する信憑性の高い理論構築で一定の成果を出したことである。

まず、本研究の中心的な問いであり問 2 で探求した異分野間連携の促進のためのマネジメントについては、複雑性に特徴づけられるネットワーク組織である異分野組織間における連携の成立に向けた自己組織的なプロセスはいかなるものか、またそのプロセスをいかに促進することができるかについて検討した。ここでは、初期条件、場、創発的な相互作用に着眼し、介入者（事例ではクラスター組織）がネットワークのメンバーに対してアクションリサーチに基づく介入を実施していること。また、連携の結果やビジネス環境、メンバーの声を基に、場を改善していることについても明らかにした。

また以上に加え、問 1 においては、事業体による異分野間連携の促進のためマネジメントを支援地域新産業を振興することを目的とする地域システムをいかに構築し運用するかについて検討した。ここでは、公共セクターが産学の参画とともに初期条件を把握して地域システムの構築をすること、また双方のコミュニケーションを通して地域システムを運用しその一部として異分野間連携の促進のためのマネジメントが事業体により実施されることを明らかにした。さらに、問 3 においては、異分野間連携に向けた自己組織的なプロセスの促進を支援する事業体に求められるための組織能力を明らかにしたうえで、いかにしてその構築と再構築をするかについても明らかにした。

本研究では、新たな事業機会を求めて連携に参画しようとする互いに平等で補完関係にある異分野組織の連携について考察の対象としている。これらの組織間の異分野間連携を促進して地域産業を振興するには、多様で多数であり自立をしているが互いに依存関係にもある主体の間で相互作用を促進して連携に至らせることが必要となる。この前提において、地域システムを構築運営し、クラスター組織により同様の異分野間連携を促進して地域産業の振興に取り組む事例研究の対象としてドイツの 3 つの事例は理論的サンプリングの観点から研究対象として妥当である。さらに、各事例は過程追跡により因果関係を明らかにしている。これらのうえで、妥当性を検討して修正概念モデルを提示していることから、信ぴょう性の高い理論構築に貢献したと考えることができる。

本研究の実践的意義においては、地域を挙げた異分野間の組織間連携の促進により、成長潜在性の高い医療機器分野でいかに競争力のある地域新産業を振興していくかという課題に対し、産業の特色もふまえた有益な提言ができると認識している。また応用面では、他産業の振興についても一定の方向性に向けて自己組織的な組織間連携を促進するための有効な視点を与え、対象を拡大した学術研究の発展および現代の日本経済・産業の実際的な課題解決に向けた多くの可能性を持つ研究である。以上により、特に地域産業の振興に取り組む公共セクターの担当者、および新規事業の推進に向けた異分野間連携の促進を支援するコーディネーター等を対象に実践的価値の高い視点を提供することができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 2件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 川端勇樹	4. 巻 10
2. 論文標題 Managing to Facilitate Cross-Sectoral Inter-Organizational Collaborations: Findings From the Experience in Germany	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Systems and Service-Oriented Engineering	6. 最初と最後の頁 13-41
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.4018/IJSSOE	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川端勇樹	4. 巻 9
2. 論文標題 Building and Operating a System to Promote Regional Competitive Industries Through Cross-Sectoral Collaborations: Findings From the Experience in Germany	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Systems and Service-Oriented Engineering	6. 最初と最後の頁 42-63
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.4018/IJSSOE	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計3件（うち招待講演 0件/うち国際学会 3件）

1. 発表者名 川端勇樹
2. 発表標題 Building a Management Body for Facilitating Inter-Organizational Cross-Sectoral Collaborations- Findings from the Experience in Germany -
3. 学会等名 ICBEIT 2019 Singapore Conference (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 川端勇樹
2. 発表標題 Managing to Facilitate Cross-Sectoral Inter-Organizational Collaborations - Findings from the Experience in Germany -
3. 学会等名 ICBEIT 2020 Sydney Conference (Online) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 川端勇樹
2. 発表標題 Building a Management Body for Facilitating Inter-Organizational Crss-Sectoral Collaborations: Findings from the Experience in Germany
3. 学会等名 ICBEIT 2023 Guam Conference (Online) (国際学会)
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 川端勇樹	4. 発行年 2023年
2. 出版社 IGI Global	5. 総ページ数 277
3. 書名 Promoting Regional Industries Through Cross-Sectoral Collaborations: Regional System, Management, and the Management Body	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------